

年次研究大会 2017【報告】



会場風景（日本工業大学神田キャンパス 3F 目的ホール）

2018年1月20日(土)、日本工業大学神田キャンパス多目的ホールにおいて日本マクロエンジニアリング学会第33回年次研究大会が開催され、多くの会員、一般の参加がございました。会場は日本工業大学様のご厚意により無償で使わせて頂きました。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

発表1 「マイクロファイナンスプログラムの家計所得への影響」木村正信（金沢星稜大学）、ジョシアバイ（金沢星稜大学）、西村めぐみ（共立女子大学）

インドの Aurangabad 市の 123 人の女性住民（61 人のユーザで、62 人の非ユーザ）から収集されたデータに基づき、マイクロファイナンスプログラムが借り手の家計収入に統計的に重要なプラス効果を持つこと、マイクロファイナンスは貧困対策や女性の経済的地位向上にとって有効な戦略となりうると発表されました。



発表1「マイクロファイナンスプログラムの家計所得への影響」木村正信

発表2 「A Study on Implementation of Community Driven Development Programs in Decentralization Era of Indonesia」, Bagus Pambudi（拓殖大学大学院国際協力学研究科）

インドネシアにおける農村において実施された現地調査に基づき、地域主導型開発の理論的側面と実践的側面の総合的な見解により、2001年から適用された地方分権化政策下において、地方分権と貧困問題の深い理解に基づき、プログラムの設計と実施を改善するための有益な情報を提供できる旨、発表がありました。



発表2「A Study on Implementation of Community Driven Development Programs in Decentralization Era of Indonesia」, Bagus Pambudi

発表 3 「次世代自動車普及政策の矛盾と課題」,
王 燦堯 (東北大学大学院 国際文化研究科 博士前期課程), 劉 庭秀 (東北大学大学院 国際文化研究科 教授), バートル エルデネダライ (東北大学大学院 国際文化研究科 博士後期課程)

中国、米国、ヨーロッパ、日本における次世代自動車の普及と環境への総合的な影響について具体的な数値に基づき考察され、その矛盾と解決策について発表がありました。



発表 3 「次世代自動車普及政策の矛盾と課題」
王 燦堯

発表 4 「中国の廃棄物輸入禁止政策の背景とその影響-廃プラスチックを中心に-」 劉 曉玥 (東北大学大学院 国際文化研究科 博士前期課程), 劉 庭秀 (東北大学大学院 国際文化研究科 教授), 王 燦堯 (東北大学大学院 国際文化研究科 博士前期課程), 範 耕杏 (東北大学大学院 国際文化研究科 博士前期課程)

中国の廃棄プラスチック処理の現状、環境や従事者の健康への影響に鑑み、中国政府の廃棄物輸入禁止による動向、資源ごみの有効利用、産業再編について発表されました。



発表 4 「中国の廃棄物輸入禁止政策の背景とその影響-廃プラスチックを中心に-」 劉 曉玥

特別講演「JAMES 経営戦略」, 新田義修 (岩手県立大学研究・地域連携本部兼総合政策学部)
日本マクロエンジニアリング学会の経営を考える上で、時代の流れに応じた理念、目的、具体的ターゲットを定めること、更には研究大会や MacroReview の改善法などのご提言がございました。

残念ながら時間が押ししており、参加者の皆様とともに十分な討論はできませんでしたが、懇親会でいろいろなお意見を賜りました。



特別講演「JAMES 経営戦略」新田義修

閉会に先立ち、発表者 1, 2, 3, 4、それぞれ大変有意義な研究であることを踏まえ、茂木会長より、日本マクロエンジニアリング学会奨励賞が贈呈され、益々研究を発展されるよう期待されました。

参加の皆様にはアンケートのご協力、メール倶楽部のお申込み、ありがとうございました。

反省会では学会の経営戦略と幽体離脱の再現性を肴にパパミラノのハウスワイン (赤) をいただきました。

2018/1/20 文責 事務局



反省会 (於 : パパミラノ神保町店)